

# SKバーメッシュユニット - SK Bar-mesh Unit -



販売店

**fujimori** フジモリ産業株式会社

URL [HTTP://WWW.FUJIMORI.CO.JP](http://www.fujimori.co.jp)

ADDRESS : 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7  
新宿ファーストウエスト 10F

TEL / (03)5339-8531 FAX / (03)5908-0281

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 KDX小林道修町ビル

TEL / (06)6228-3864 FAX / (06)6228-3886

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-11-1 HF仙台本町ビルディング7F

TEL / (022)263-1591 FAX / (022)223-0067

〒812-0027 福岡市博多区下川端町 10-5 博多麴屋番ビル

TEL / (092)262-8515 FAX / (092)262-6750

E-MAIL : [WEBMASTER@FUJIMORI.CO.JP](mailto:WEBMASTER@FUJIMORI.CO.JP)

開発/製造

**SK** 住倉鋼材株式会社

[WWW.SK-KOUZAI.CO.JP](http://www.sk-kouzai.co.jp)

ADDRESS : 〒803-0802 福岡県北九州市小倉北区東港2丁目1-18

TEL : (093)561-2483

FAX : (093)581-4120

E-MAIL : [OTOIAWASE@SK-KOUZAI.CO.JP](mailto:OTOIAWASE@SK-KOUZAI.CO.JP)

FUJIMORI

[WWW.FUJIMORI.CO.JP](http://www.fujimori.co.jp)

上木写真家  
西山芳一

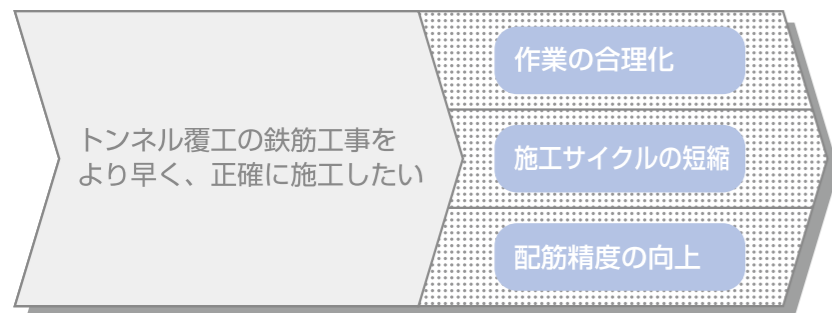


## SK Bar-mesh Unit - SBU - SKバーメッシュユニットは、現場の事を考えた合理化工法です。

二次覆工コンクリートの配筋作業には、様々な問題があります。**SKバーメッシュユニット (SBU)** は、特殊な溶接技術、曲げ加工技術を活かし現場の品質、作業問題点を解決できる画期的な工法です。この製品は、1993年から長年にわたり住倉鋼材(株)が開発、製造を行っており、弊社販売実績も含めて数多くの施工実績を残しているロングセラーの製品です。

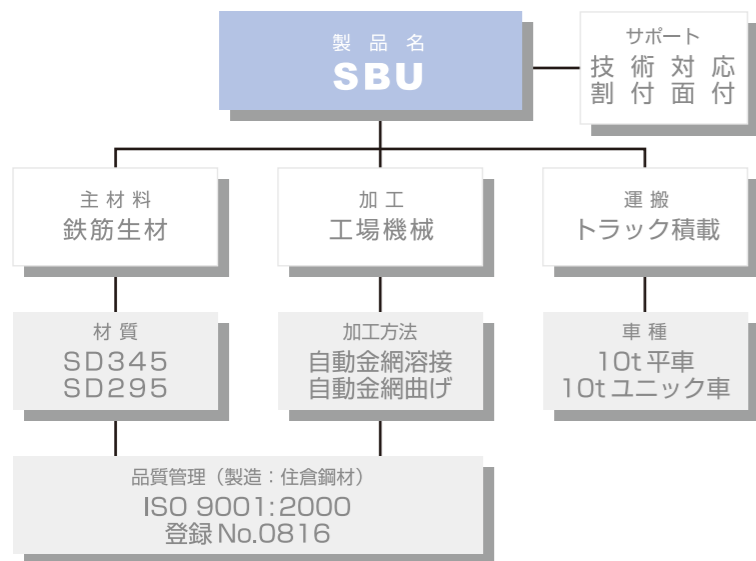
### 製品メリット

1. 専門作業員を必要としない事から、工程変更等の事態にも対応可能、作業合理化が図れます。
2. ユニット化により、配筋鉄筋の組立て作業が不要になり、手作業から重機作業へ機械化ができます。
3. 品質管理の行き届いた工場で、自動溶接金網機製造により、精度の良い製品を安定供給できます。



### 製品紹介

1. ISO9001の取得により、品質の安定した製品を供給しています。
2. トンネル工事全ての覆工鉄筋に対応するために、品質、コスト、機械、技術面の充実を図っています。
3. トンネル現場の多種多様な施工に合った材料割付と施工手順を提案します。



### 製造・出荷について

**SBU** は、トラック輸送となるためにメッシュ化された鉄筋金網の大きさが制限されます。1BL分の製品使用数量は、以下の通りです。  
標準断面 (シングル)  
インバート用 : 横断2分割、縦断6分割 (12枚)  
アーチ用 : 横断4分割、縦断6分割 (24枚)

**SBU** は、道路、鉄道トンネルへの適応は問題ありませんが、小断面トンネルやトンネル曲がり (R) が大きい箇所では適用が出来ない可能性があります。トンネルの形状については、事前検討が必要な場合もありますのでご注意ください。

\* OEM工場製造時には、記述と相違が生じる場合があります。



### SBU 限界寸法

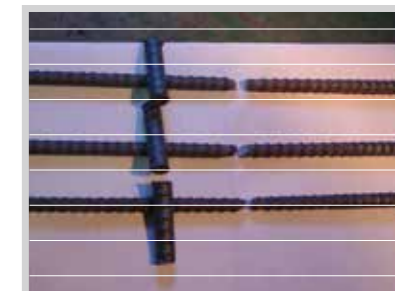
最大寸法値	製造	運送			
		4t	10t	トレーラー	
長さ	M	11.0	6.0	10.0	11.0
幅	M	3.0	2.0	2.3	3.0
高さ	M	—	3.8	3.8	3.8
主筋径	D	29×19	—	—	—
配筋径	D	25×22	—	—	—

### 製品試験・規格値

強度試験は、溶接部に対して引張、せん断、曲げ試験を行っております。試験値は下記の通りです。

試験項目		試験方法	単位	規格値
溶接部を含む部位	引張試験	降伏点	N/mm <sup>2</sup>	345-440
		引張強さ		490以上
		伸び	%	18以上
せん断試験	せん断強さ	同上	N/mm <sup>2</sup>	50以上

\* 1 異形棒鋼溶接金網は、D16以上JIS対象品ではありませんが、品質特性試験はJIS G3551「溶接金網および鉄筋格子」規定内容に準拠して試験を行っております。



### SBU への変更について

**SBU** は、原設計の手組み配筋図面をユニット鉄筋配筋に変更する必要があります。

変更に必要な事項は下記の3点です。

- ① 鉄筋割付変更 : 原設計をメッシュ割付に変更
- ② 千鳥から同列継手へ変更 : 右記表の技術的根拠を引用
- ③ 溶接強度部の強度証明 : 検査証明書発行

**SBU** は、多くの事業主、施工者様から長年に亘って高い評価を頂き、施工実績500件を超えるトンネルの標準的な工法です。

継手長	原設計	主筋継手	配筋継手
	<b>SBU</b>	必要継手長 × 1.3	必要継手長
技術的根拠	資料名	コンクリート標準示方書構造型能照査編	自動化に適したコンクリート構造物の設計・施工技術に関する共同研究報告書
	参考内容	[9.6 鉄筋の継手]に規定されるⅠ～Ⅲの基準に対して、SBUは1.3倍の継手長を有する事で解決	[2.5 ユニット鉄筋の重ね継手の設計]によると、配筋量は特別の配慮なく配筋量規定に基づく